

令和2年度 仙台市立馬場小学校学校評価報告

2021. 3. 5

1 学校評価アンケート期間 令和2年12月9日～12月21日

2 アンケート対象 地域・保護者・児童・教職員

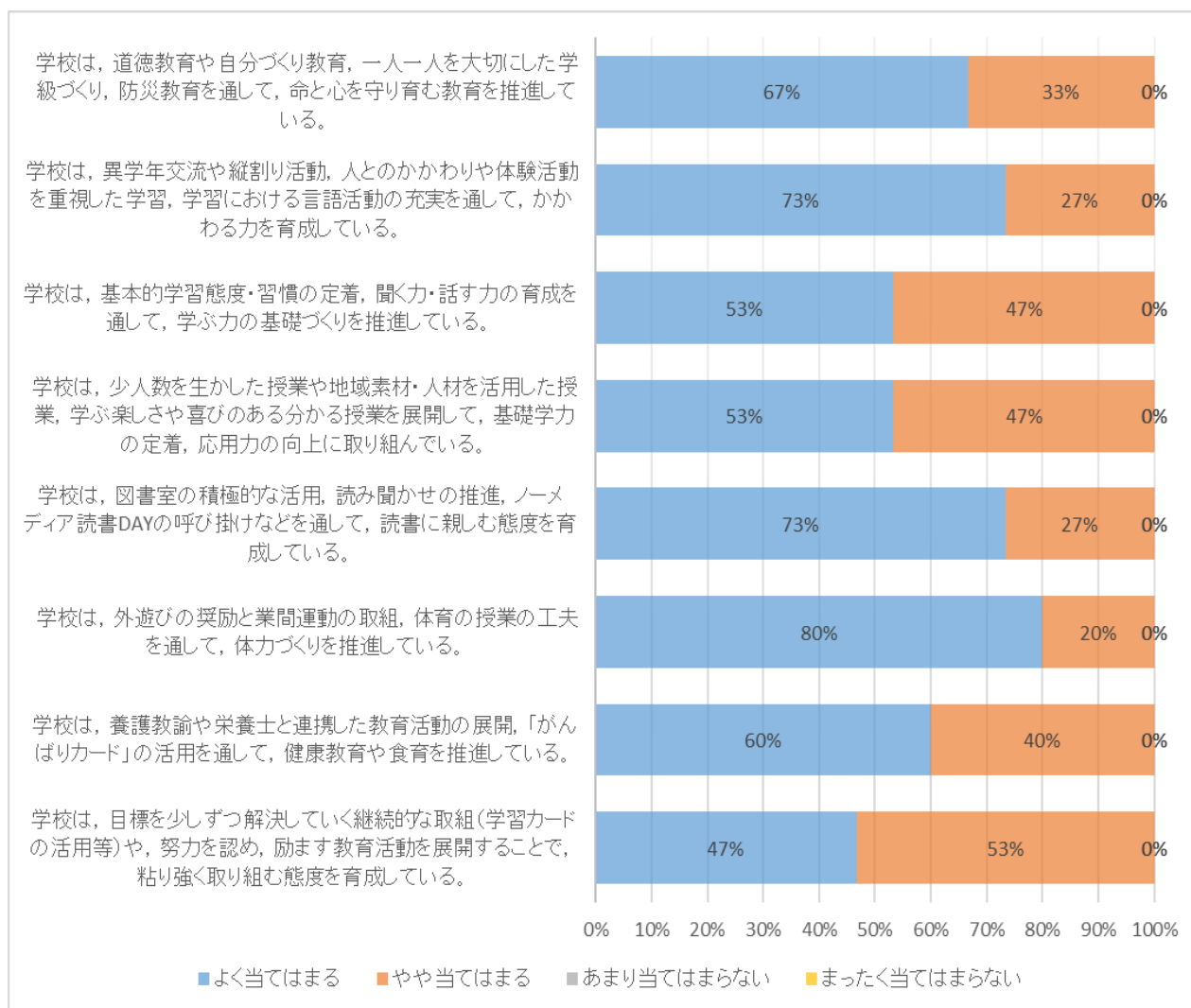
回答数 保護者 15名 (15名中: 100%) 地域 14名 (18名中: 78%)

児童 20名 (20名中: 100%) 教職員 13名 (13名中: 100%)



3 結果

(1) 学校運営について(保護者のみ) ※全回答数(全家庭数) 15名に対する割合



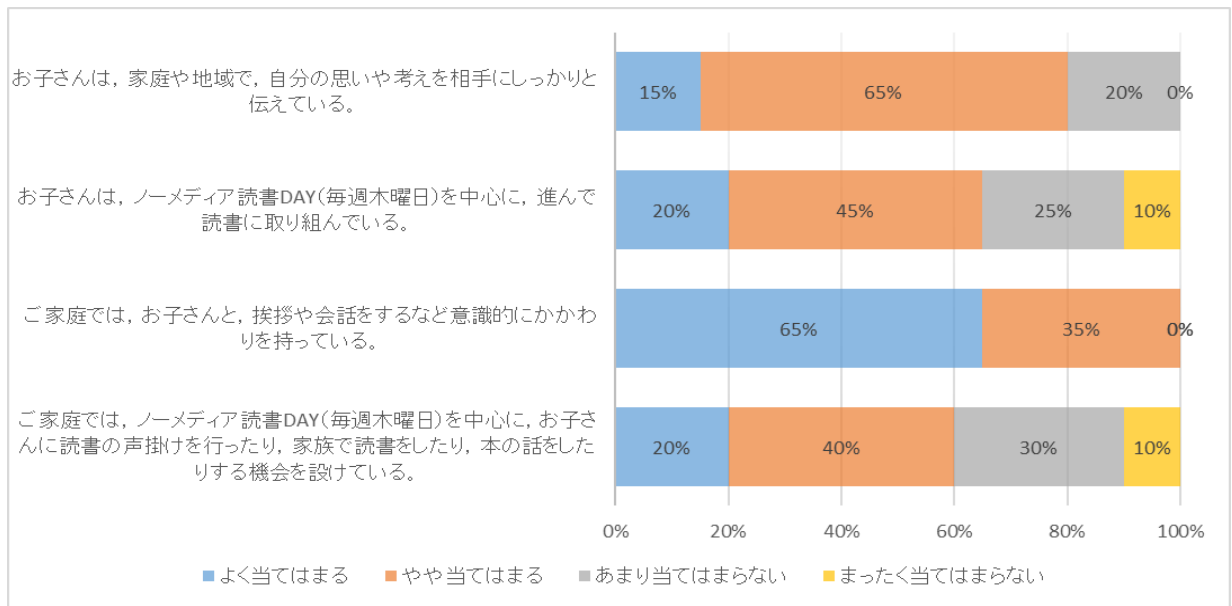
<アンケート結果より>

全て「よく当てはまる」「やや当てはまる」を合わせて100%でした。特に、「異学年交流や縦割り活動、人とかかわりや体験活動、言語活動の充実」「外遊びの奨励と業間運動の取組、体育の授業の工夫」では、「よく当てはまる」が約80%と高評価をいただきました。保護者の皆様から、当校の教育活動について評価していただいていると考えます。

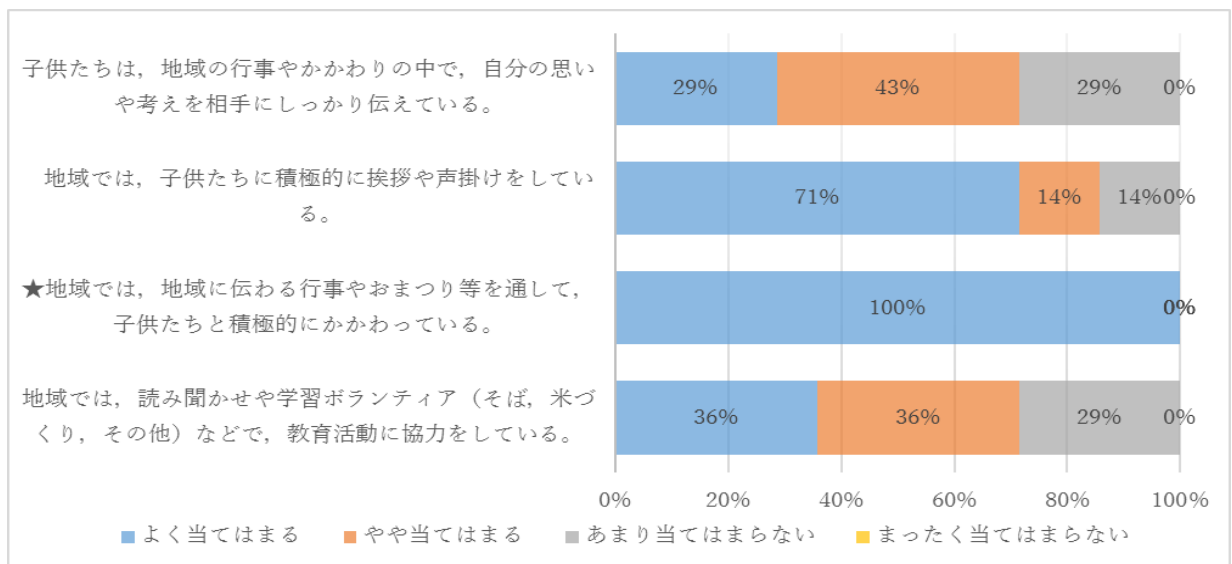
これからも少人数という当校の特色を生かしつつ、一人一人が充実した学校生活を送ることができるよう、教育活動の工夫を行って参ります。

(2) 協働型学校評価重点目標について

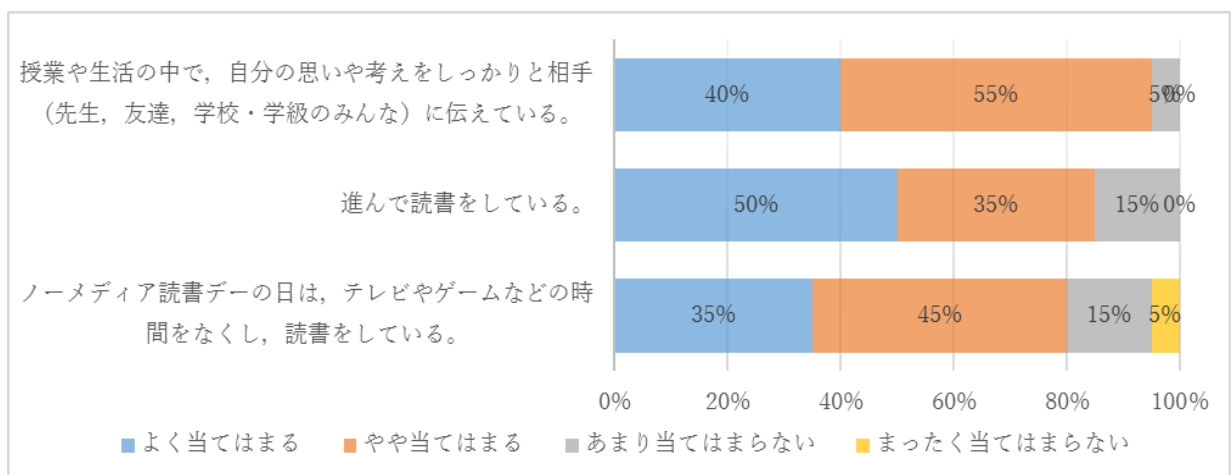
① 保護者 ※全回答数(全児童数) 20名に対する割合



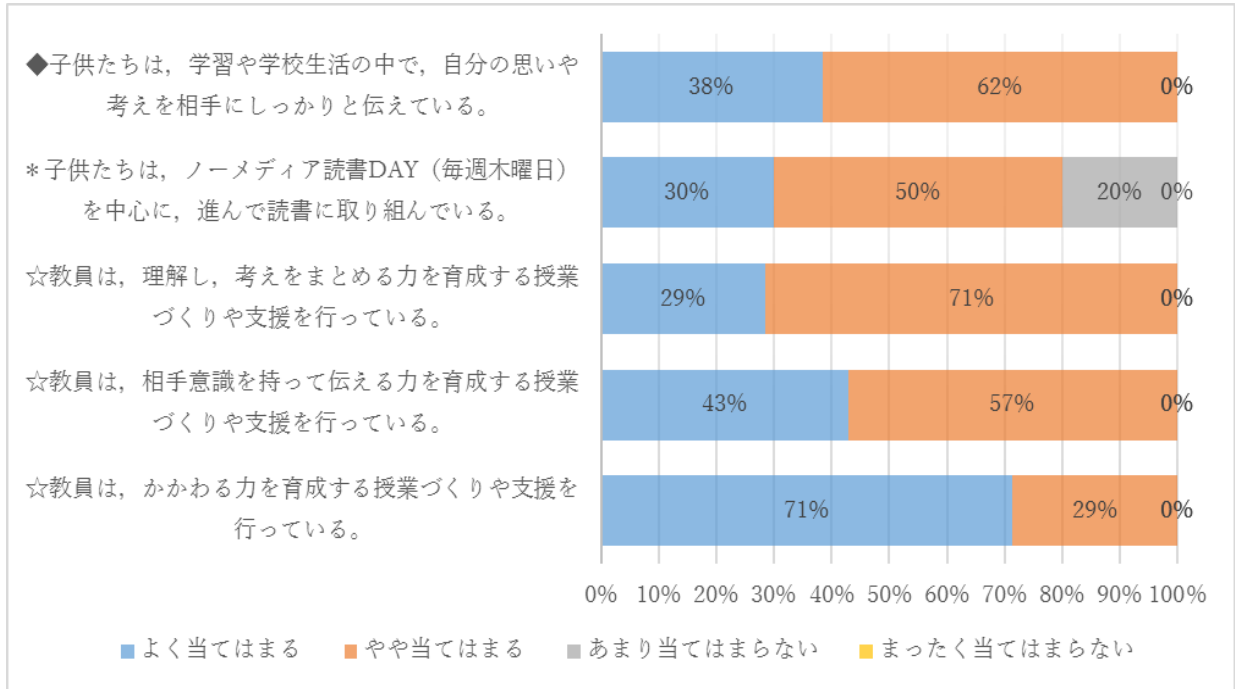
② 地域 ※全回答数 14名に対する割合(★は「該当無し」が多数により、5名のみ回答)



③ 児童 ※全回答数(全児童数)20名に対する割合



④ 教職員 ※全回答数(◆…13名, *…10名, ☆…7名)に対する割合



<アンケート結果より>

協働型学校評価重点目標

「思いや考えを伝えることができる子供の育成」「進んで読書に親しむ子供の育成」

思いや考えを伝える

「自分の思いや考えを相手にしっかりと伝えている」の項目では、「よく当てはまる」「やや当てはまる」を合わせて、児童や教職員は、ほぼ100%、保護者の方々は80%でした。その反面、地域の方々は72%でした。このことから、学校や家庭では、自分の思いや考えを伝えることができているが、地域に入ると、自分の思いや考えを伝えることが苦手な児童が多いと考えます。また、今年度はコロナ禍ということもあり、地域と関わる場面が減り、それが地域での評価があまり高くない原因と考えます。

学校では、挨拶も含めて、友達や家族以外でも思いや考えをしっかりと伝えることができるよう、教育活動全体を通して指導して参ります。

進んで読書に親しむ

「ノーメディア読書デーでの読書」の項目に関して、児童は「よく当てはまる」「やや当てはまる」を合わせて80%ではあるものの、「よく当てはまる」は35%、更に「まったく当てはまらない」が5%あります。また、保護者の方々は、「よく当てはまる」「やや当てはまる」を合わせて65%です。このことから、学校では進んで読書をしているが、家庭では、ノーメディア読書デーも含め、あまり読書をしていない児童がいると考えます。

学校では、引き続きノーメディア読書デーを推進するとともに、児童に読書を奨励して参りますので、ご家庭でもお子さんに読書の声掛けや、家族で読書をしたり本のお話をしたりする機会を設けていただけたらと思います。ご協力をよろしくお願いいたします。



(3) 自由記述について

保護者の皆様から

- ・秋保小との統合で不安を抱えているため、統合して良い点などを学校でも教えていただけるとありがたいです。よろしくをお願いします。
- ・いつもありがとうございます。毎日楽しく過ごせており、ありがたく思っています。
- ・一人一人に何でもいいので、自信を持たせてほしいです。
- ・少人数の中で、いろいろな活動をしていて良いと思います。これから寒さが厳しくなってくるので、体育館などで運動ができると良いと思います。

<学校から>

温かいお言葉をありがとうございます。少人数を生かした個に応じた支援や、一年間を通した業間運動の継続も含め、様々な教育活動の工夫を引き続き行って参ります。

地域の皆様から

- ・毎月、学校だよりを楽しみにしています。子供たちの学校の様子を知ることができます。民生委員として月2回朝のあいさつ運動で子供たちの安全を見守っています。子供たちから挨拶をもらうと、逆に元気をもらいます。また、3月の感謝の会のとき、感謝の手紙ありがとうございます。大事に取っています。
- ・「地域では、子供たちに積極的に挨拶や声掛けをしている」に対し、子供たちの声が小さいです。(恥ずかしい?) 馬場小学区の史跡、郷土芸能等の学習の機会があれば良いと思います。
- ・秋保地区では、学力向上対策が喫緊の課題です。将来の可能性を広げるためにも、小中連携して相当の手立てが必要と感じています。学校だけでなく、保護者との協力体制を構築する具体的な取組が必要です。
- ・子供たちと接する機会がほとんどなく残念です。地域の活性化とは、子供たちの笑い声、泣き声が身近に感じることでと考えていますので、Uターン、移住者の受入れ態勢を秋保全体で作りに上げていくようにしたいです。
- ・地域の行事はすべて中止となり、子供たちと接する機会がありませんでした。
- ・新型コロナウイルスの拡大のためか、子供たちを見掛けることが少ない今日この頃です。
- ・町内会でも、小学生の子供たちが少なく、地域内で出会うことが少ないです。子供たちには、素直で誰に対しても思いやりのある子供に育ててほしいです。
- ・子供たちは、伸び伸びと明るく育っていると思います。学習は大切ですが、自然に触れて明るく育った子供たちは、自分の長い人生を楽しく過ごすことになるでしょう。校長先生他、教員の皆様、本当にありがとうございます。
- ・地域の皆様に大切にされ、かわいがられている子供たちです。そして、何でも頑張れる素直な子供たちです。そんな子供たちを学校の中でどんどん鍛えてやってください。校歌にある「練りて鍛えて」です。

<学校から>

いつも温かい目で見守っていただきありがとうございます。挨拶に関しては、学校として、来年度重点的に取り組んでいく事項の一つでもあります。「自分から」「どこでも」「誰にでも」できるよう、一層の指導を心掛けて参ります。